

2日間連続講座

9月23日(土)、24日(日)

松山 シアターねこ



日本劇作家協会

# 戯曲を 書いて みよう！



戯曲を書いて  
世界を見つめなおす  
二日間

戯曲を書こうと思った瞬間から、自分の生活を見つめなおしたり、  
自分の中に眠る、言葉になる前のなにかを探し当てようとするはずです。  
私たちと一緒に、戯曲が生まれる瞬間を体験してみませんか？

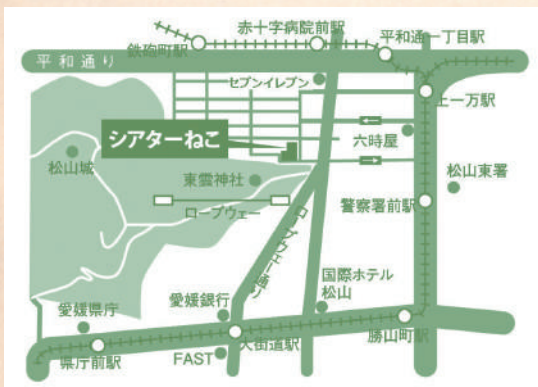
次代を担う劇作家を育成するためのプロジェクト

# みよう！ 書いて 戯曲を

2日間連続講座

9月23日(土)、24日(日)

松山シアターねこ



〒790-0806 愛媛県松山市緑町1-2-1

## ◎ご予約

日本劇作家協会 Web サイトに設置のフォームよりお申し込みください。



<http://www.jpwa.org/>

## ◎お問合せ

一般社団法人 日本劇作家協会 事務局

TEL 03-5373-6923 MAIL [jpa.kaite@gmail.com](mailto:jpa.kaite@gmail.com)

シアターねこ

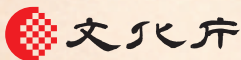
TEL 089-904-7025 MAIL [theater.neco2012@gmail.com](mailto:theater.neco2012@gmail.com)

企画：日本劇作家協会 人材育成委員会  
リーディングワーキンググループ

フライヤーデザイン：奥秋 圭

制作：国松里香 川端 舞

助成：文化庁文化芸術振興費補助金



(舞台芸術等総合支援事業(次代の文化を創造する新進芸術家育成事業))  
独立行政法人日本芸術文化振興会

主催：一般社団法人日本劇作家協会

制作：一般社団法人日本劇作家協会

協力：NPO 法人シアターネットワークえひめ/シアターねこ

◎受講料 無料

◎プログラム (予定)

1日目 13時00分～17時00分 (適宜休憩あり)

- ・自己紹介する
- ・名作戯曲を声に出して読んでみる
- ・日常のもやもやをみんなで語り合ってみる
- ・題材から戯曲の組み立て方を知ってみる

2日目 10時30分～15時30分 (お昼休憩あり)

- ・班に分かれてアイデアを出しあう
- ・進行役を中心に戯曲を立ち上げてみる
- ・できたものを音読してみる

◎参加条件 今年度 高校1年生以上/戯曲執筆経験：不問

◎募集定員 20名

◎締切 9月13日(水) \*先着順受付 \*定員に達し次第締め切ります

◎講師

## 山田裕幸

日本劇作家協会人材育成委員会委員長。

劇作家、演出家、白子ノ劇場芸術監督、藤枝ノ演劇祭フェスティバルディレクター。大学時代より約25年にわたり東京の小劇場を中心に公演活動を行い、2018年、静岡県藤枝市の白子名店街の店舗をリノベーションし白子ノ劇場を開業、地域に根差した活動を続けている。劇団「ユニークポイント」の活動の他に、SPAC(静岡県舞台芸術センター)での作品作りや、中学生へのアウトリーチ活動も行っている。2005年『トリガー』にてテアトロ新人戯曲賞を受賞。



◎講師アシスタント

日本劇作家協会 人材育成委員会 リーディングワーキンググループ

2010年より劇作家育成と戯曲ブラッシュアップを目的とした、「月いちリーディング」(現名称「改稿サポートする輪。」)を継続開催。公募短編を紹介する「リーディングフェスタ」など、数多くの育成企画に取り組んでいる。

## サカイリユリカ

劇作家。1988年、茨城県生まれ。桜美林大学総合文化学群演劇専修卒業。長谷基弘・鐘下辰男に師事。2011年より、戯曲のブラッシュアップを目的とした劇作家のみの団体「戯曲本舗」を主宰。日本劇作家協会戯曲セミナー2018年度受講。



## 藤崎麻里

劇作家。2004年『溺れる人』で第3回読売・日本テレビウーマンズビート大賞受賞。映画『パラレルワールド・ラブストーリー』脚本協力、ほかドラマなど執筆。2019年に「singing dog」旗揚げ。第一回公演の『ブラックアウト』が、門真国際映画祭2021の舞台映像部門にて最優秀作品賞を受賞。



## 吉田康一

劇作家、演出家。「Antikame?」主宰。代表作に『つややかに焦げてゆく』、『なんども手をふる』(いずれも日本劇作家協会新人戯曲賞 二次選考選出)。2018年と2021年に若手演出家コンクール二次審査選出。外部演出作品のsinging dog『ブラックアウト』が 門真国際映画祭2021 舞台映像部門 最優秀作品賞受賞。

